

📖 シリーズ「きょうだいの思い出」 36

きょうだい③

小学2年生で高槻に転入してきた私はA小学校に通ったが、校区編成の変更があり3年生からは新たに開校されるB小学校に変わった。B小学校の新しい校舎が完成するまで約一年間、A小学校の敷地に建てられたプレハブ教室で過ごした思い出がある。

このシリーズの『あさがおオシッコ事件』でも触れたように、1年生の弟と3年生の私の教室が隣同士になったのもそんな経緯があったからだ。

A小学校の2年生の時だけ一緒だった〇ちゃんと、中学校で再会した。〇ちゃんは自閉症で、2才下に妹がいた。当時の〇ちゃんは、私でさえも「怖い」と身構えてしまうほどにエネルギーがすごかった。休み時間、廊下を走って体当たりで他人に向かっていくほどだった。私も、ガブッと腕を噛まれた経験がある(笑)

当時、〇ちゃんの中学校での様子を妹さんはどう感じているだろうと、私自身に重ねてしまうところがあった。私と同じ2歳差のきょうだいで、小学校の4年間と中学校の1年間を共に地域の学校へ通い、きっと辛い経験もあっただろうと思う。

10年ほど前、〇ちゃんのガイドヘルパーをしていた時に妹さんと少し話をする時間があった。「子どもの頃、お母さんが帰って来るまで留守番してる時も、お姉ちゃんは暴れたり怒ったりしてた。『私はお姉ちゃんのためにやってるのに、なんで噛むの？なんで怒るの？なんで？なんで？』ってずっと思った。すごい辛かった」と妹さんが話した。

〇ちゃんのお母さんは毎日働いていた。幼少期にそんな想いをして、仕事から帰って来るお母さんを待つことが多かった妹さんのストレートな言葉には胸が痛かったが、もしかしたら妹さんにとって『学校』は『お姉ちゃんを見てくれる大人がいる場所』で、安心な一面があったのかも知れないな…と感じた。

『あさがおオシッコ事件』の文面で書かなかったが、あの時、泣き伏せる私に担任の先生が言い切った言葉には、実は続きがある。

「……〇ちゃんの妹も、辛いことがあると思うよ、でも泣かずに頑張ってるじゃないの」

先生の言葉は、何十年の年月を経て、妹さんを通じて私の胸に響いた気がした。

つづく

前穂通信

まえほつうしん

発行日	2015年6月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



🎤 制度情報・短期入所送迎加算に関して

本年度4月からの制度改正に伴い、新たに送迎加算対象の範囲が見直されました。今までの事業所と居宅、作業所間以外に、最寄り駅や集合場所等への送迎も加算の対象に追加されました。※連泊中の初日と最終日の送迎以外は加算の対象となりませんので、今迄通りの実費負担(片道300円/車椅子500円)となります。

🌸 スタッフ日記



伊勢栄二郎です。入社して、早いもので一年半が過ぎようとしています。皆様から熱心な指導を受けながら、あっという間に今日に至りました。ゲストの方々の笑顔に少しでも応えられるように、もっと寄り添えるように、これからも努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

あっ、あと、肝心なことを書き忘れていました。自称(?)妻を大切にしている愛妻家です。この場をお借りして馴れ初めから告白の言葉まで事細かにお話ししたいくらいです。が、それはまた、ご質問を頂戴できましたら…。